

現在、船迫窯跡公園では十二月二日まで秋の特別展『縄文』が開催されており、京築管内で出土した縄文時代の代表的な土器などが多数展示されています。

ここで紹介するのは築上町越路の石町遺跡から出土した土器で、昭和六十二年に浄水場建設に伴い発掘調査された縄文時代後期（約三千三百年前）の遺跡です。

さて写真①の深鉢ですが、上の口縁部分が四ヶ所突起しています。拡大写真を見ると特徴のある造形です。何に見えますか。蛇がトグロを巻いているように見えませんか。まるで鉢の縁に居座って、中の大切な食物を守っているかのようです。写真②も口縁部に蛇の模様が貼り付けられています。こちらはクネクネと這って見張っているように見えます。

縄文時代中期（約五千年前）から長野県など中部地方で多彩な蛇の装飾が流行しますが、蛇の様子は全国の



▲①の土器の口縁部を拡大

▼①石町遺跡住居跡出土土器



▲②石町遺跡住居跡出土土器

の縄文土器に数多く見られます。蛇は脱皮して命を再生することや人を殺す毒をもつことなどから再生や強靱な生命力のシンボルとして信仰されています。（文化財保護係 高尾栄市）

## しいだコミュニティ倶楽部からのお知らせ

### 囲碁・将棋大会お知らせ

日時 12月2日（日）  
受付 9:00～ 開会式 9:15～  
開始 9:30～

場所 中央公民館 2階和室

対象 築上町民・町内勤務者

参加費 会員 1,000円/会員外 1,500円  
小中学生 500円 ※弁当を用意します。

定員 囲碁の部 32人 将棋の部 32人

申込 11月20日（火）までに参加費を添えて  
しいコミ事務局（椎田体育館56-0075）へ、  
お申し込みください。



### 10月20日（土）「スポーツまつりが開催されました！」



▲卓球バレー

▼ストレッチ指導



▲ピンゴボードゲーム

申込・問い合わせ：しいコミ事務局 椎田体育館 56-0075